

2025年度第2回おおぶ文化交流の杜運営協議会

日 時 : 2025年11月20日(木) 14:00~16:00

場 所 : おおぶ文化交流の杜 2階会議室3

出席者 : 委員5名／大府市(細谷文化交流課長・深谷文化振興係長) 事務局(JTBコミュニケーションデザイン:以下JCD 総合館長松井・文化交流部門マネージャー和田・森 図書館流通センター:以下TRC 図書館館長村上・図書館部門マネージャー小倉・伊藤支社長)

発 言 者

議 事 錄

事務局 本日はお忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。

2025年度第2回おおぶ文化交流の杜、運営協議会を始めさせていただきます。

司 会 アローブも開館11周年を迎えてますが、地域の皆さんに愛され、ご期待に添えるよう様々な工夫を凝らしながら日々順調に運営していると聞いております。
本日は文化部門・図書館部門の今年度上半期報告と、来年度事業計画案について議論して頂きたいと思っています。
忌憚のないご意見をお願いします。本協議会の規約に則り、委員過半数の出席の為会議成立となります。

～2025年度上半期文化交流部門より説明～

司 会 ご意見ご質問などお願いしたい。

C 委 員 毎回いろいろな企画を楽しみにしている。親子で楽しめるコンサートの企画がよかったです。
企画段階で大変な事が多くあったと思うが、市民に寄添った企画を今後も開催して欲しい。

J C D アローブの舞台だからできる規模の親子コンサート企画で、舞台にシート敷き、自由なスタイルでお子様が音楽に接し、楽しんでいただけるきっかけ作りのコンサートとして、大きな意義があると考えている。毎年多くのご参加者での開催となり、大府市の音楽の裾野が大きく広がることを願っている。2026年度も親子で参加できる企画を開催予定だ。

C 委 員 次回も楽しみにしている。

J C D 期待に添えるよう頑張りたい。

司 会 その他にご意見をお願いしたい。

D 委 員 おおぶミュージックコレクションのコンサートで、電子チケットを採用しなかったとあるが、なぜ採用しなかったのか伺いたい。

J C D 今回地元のアーティストによるファーストコンサート。多くの地元市民に参加して応援していただくためにも、少しでも入場料金を安く設定したいと考えた。その一つの方法として、電子チケット利用にかかる発券手数料を抑える方法を探った。
今後も料金や入場方法なども含め、多くの市民に参加いただきやすい企画となるように取り組んでいきたい。

D 委 員 承知した。

司 会 市民講師企画の件で、講師の選定と集客に苦労したと聞いたが、次回同じ内容の企画をする際に反省点を踏まえて工夫する点はあるか。

J C D 今回初の試みで企画したが、講師の募集枠に対して倍近くの応募があったのは大きな収穫であった。反省点として、市民講師であることを表に出したので、信頼感が低く感じられてしまい集客に結びつかなかった点があると考えている。しかしながら講師として教える際の気づきになったり、自身の趣味を広められるいい機会になったと参加者からは感想を頂けた。

苦労した点は、初めての挑戦を応援したい意図があったため、経験が浅い応募者の中で、講座の対象を「大人・子ども・親子・女性」に分けたうえで選定をするのが大変であった。講師から次回もぜひ参加したいとのお声を頂いた。引き続き企画を検討する。

司 会 非常にいい取り組みだ。ぜひ継続した取り組みをお願いしたい。

J C D 承知した。

司 会 その他ご意見ご質問はないか。

全 員 特になし。

～2025年度上半期図書館部門より説明～

T R C

初めに前回「2025年第1回運営協議会」での委員からのご質問、ご意見の回答をさせていただく。

・「資料費の内訳の開示」について日本図書館協会へ毎年提出している情報が『日本の図書館 統計と名簿』に記載されておりその内容をお伝えする。

2024年度の内訳については、2026年3月に出版される予定。

・「TRCスタッフの人員構成について、スタッフが減り館内サービスに影響が出ているのではないかと懸念する。」というご意見に対して、人員体制について心配をおかけした。

求人・採用をおこない、現在は適正な人員体制を整えている。引き続き、安定的な運営に努める。

～～ 説明後、本題へ ～～

司 会 何か質問はないか。

A 委 員 紙芝居講座の反省事項に「特集を見た来館者が『紙芝居もあるんだね』と話しているのを度々見た」とあるが、自身も紙芝居が置かれている場所を探した経験がある。紙芝居の需要は多いと思われるため、排架場所をわかりやすく掲示していただければもっと需要が増えるのではないかと考える。

T R C 承知した。早速、検討する。

A 委員 文章講座「大人も楽しめるおはなし会」は文章講座とあるが、内容は「おはなし会」となっており違和感がある。文章を「書く」のか「話す」のかまぎらわしいと感じた。利用者を混乱させる。講座名やイベント名の表示方法を検討してはどうか。

司 会 参加者に内容がわかりやすくすることが重要。そこに課題感をもって検討してほしい。

T R C 承知した。

A 委員 図書館の本を借りる際に必要な利用者カード（黄緑色のカード）を何年も使っていると資料タイトルや返却日が綺麗に印刷されず見にくくなる。3年毎の更新時に交換の声掛けをしてみてはどうか。

T R C 費用も掛かるため3年毎に交換の声掛けをするのは難しいが、ご利用頻度の多い利用者で綺麗に印刷されなくなった場合には、カードの状態を確認して再発行の対応をしている。カウンターで相談いただければ、利用者カードの使用状況、状態を確認して判断する。

A 委員 図書館子どもまつりで、オープニング時にステージ前に多くの子どもたちが集まっていた光景がとても良かった。しかし床に直に座っている姿が多く見られたため、今後は椅子やゴザなどを用意してはどうか。

T R C スタッフからも「椅子やゴザを用意すべきだった」という反省があった。

次回はより多くの子どもたちに快適に参加してもらえるように会場づくりに工夫したい。

A 委員 承知した。

司 会 他に質問はないか。

C 委員 電子書籍の閲覧件数が上昇しているが、来館者数が減少していることと何か関連はあるのか？

T R C 電子書籍の閲覧件数が増加しているのは、市内の小中学校で朝読用として「読み放題パック」を利用いただいているため、全学校での一斉利用が主な要因と考えている。来場者数の減少との関係については、現時点では明確な関連は確認できていない。引き続き状況を検証していくが、「読み放題パック」の導入が来館者数の減少につながっているとは考えにくい。

A 委員 持ち込み学習の規制について、その後環境の変化はあったか。

T R C 以前はテスト週間には、閲覧席が学生で埋まってしまい、一般利用者が座れない状況があった。規制後は学習室や公民館の利用を案内しており一定の解消はできたと考える。

司 会 他にご意見などないか。

全 員 特になし。

～第3期おおぶ文化交流の杜中期事業計画「あしたの杜」文化交流部門の説明～

司 会 何か質問はないか。

B 委員 P.7、7月21日の朗読と音楽の企画で、“図書館で夜開催”とあるが、どのような企画なのか。

J C D 図書館の休館日にあたり、本の朗読とそれに合う音楽を組み合わせた企画として考えている。初めての企画なのでまだ内容が決定していない。昨年、図書館が実施したナイトライブラリーに似た企画になる。

大府市 昨年、図書館休館日の夜に、アナウンサーの朗読に合わせ、鈴木バイオリン「SUZUKI カルテット」に演奏をしていただき、非常に素敵な時間と空間であった。演奏者からも再度公演したいとの声も上がっている。

T R C 2026年1月に再度、図書館主催のナイトライブラリー企画を予定している。

司 会 アロープらしいいい企画で楽しみだ。

C 委員 次年度もバラエティにとんだ企画があり楽しみだ。来館者が増えると嬉しい。

J C D 引き続き市民に楽しんで頂けるイベントを企画する。

～第3期おおぶ文化交流の杜中期事業計画「あしたの杜」図書館部門の説明～

司 会 何か質問はないか。

B 委員 文章講座「おおぶこどもふるさと検定」とあるが、この講座は「ふるさと講座」として開催する講座ではないか。

T R C 検討したい。

C 委員 次年度も楽しい企画を考えていただきありがたい。引き続き継続してほしい。

T R C 承知した。

A 委員 岩波書店編集部長の講演会は大変好評だった。他館の司書や図書館関係者が聞きに来るほど好評な企画で、おおぶ文化交流の杜図書館の自慢だ。継続してほしい。

T R C 承知した。

司 会 他に全体を通じての意見、質問はないか。

全 員 特になし。

司 会 委員の皆さまからも今後に向けて貴重なご意見をいただき、協力しながら allobu の運営を支えていただきたい。引き続き協力をお願いする。

全 員 承知した。

J C D 本日はありがとうございました。

次回 2026 年度第 1 回運営協議会開催は、2026 年 5 月 21 日（木）14 時から、おおぶ文化交流の社会議室で開催を予定している。

今後も市民や地域団体のみなさまと連携しコミュニケーションを大切にしながら、ご来館いただきました皆さまに満足して頂けるよう、スタッフ一同日々努力してまいります。

引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひする。

司 会 以上で協議事項は全て終了した。閉会。